

竹内勝太郎 たけうち かつたろう 詩人。明治二十七年十月一日京都生れ、昭和十年六月二十一日没（一六五—一九三三）。私に清和中學校中退後アラン入諾と學ぶ。新聞記者、京都市役所嘱託など。詩作の他、民俗學研究も及ぶ。黒部溪谷の遭難死。

- 著書『國詩選集』（合著・東京自由新聞社編、大正七年六月五日東京圖書刊行社）、詩集『素描』（明石國助、鶴巻恒松合著、大正八年五月一日京都・野村信三刊）、詩集『林のなか』（大正十四年二月二十八日京都・自刊、大阪・鈴屋書店發賣）、詩集『春の樂器』（大正十五年七月一日京都・自刊、弘文堂書房發賣）、詩集『室内』（昭和二年一月五日創元社）、『現代佛蘭西の四つの顔』（昭和五年十一月二十日ヤトリ出版社）、『藝術民俗學研究』（昭和九年九月五日命館出版部）、『藝術論（その啓蒙的試み）』（昭和九年十一月十日命館堂）、『曲歐藝術風物記』（昭和十年九月一日芸仙堂）、『春の犧牲』（昭和十六年一月二十日弘文堂書房）、『詩論』（昭和十八年二月十五日石書房）、『明日一定本詩集』（昭和二十二年一月二十五日京都・明窓書房）、『宗教論』（昭和二十二年十二月二十日福村書店）『ロゴス新書』（、『藝術民俗學研究』（昭和二十四年八月十日福村書店）、詩集『留豹』（昭和二十八年二月二十五日創元社）、『竹内勝太郎詩集』（喜十止晴編、昭和二十八年十月一日）



竹内勝太郎  
内勝太郎詩集

（喜十止晴編、

昭和二十八年十月一日）



二月五日河出書房「市民文庫」等。